



3年海洋技術コース キャリアトライアル 「ことばの力」トライアル



＜四宮 康＞

舞鶴市三浜地区で投石された場所に生息しているサザエ、アワビの成育の妨げとなるムラサキウニの駆除をしました。その目的は、貝類の餌となる海藻をウニが食べつくして磯焼けになってしまい、貝類が成育できなくなってしまうからです。ここまでは、事前学習で教えていただいた内容で、実際に潜ってみると、海藻がほとんど生えていないのかと思っていましたが、コンブなどが生えておりウニによって食い荒らされているわけではないとわかりました。また、ウニハードルを設置し昨年度の先輩方がウニを駆除した駆除区と、非駆除区で比較してみると駆除区の方がウニが少なくウニハードルの効果が出ていることもわかりました。しかし、私が泳いでいた中で見た貝類はサザエ1つだけで他には何も見当たりませんでした。このことからウニだけによって貝類が成育できていないわけではなく、元々何もなかったところに投石したのだから潮の流れや、水深など他にも考えられる問題があるのではないかと考えました。

＜壺内 章矢＞

この日は漁協の方と船に乗り、阿蘇海のアサリ分布調査をしました。5カ所でそれぞれ「じょれん」を使い海底にいる生物を取り出し、「DOメーター」で溶存酸素・水温を測りました。しかし「じょれん」を使い海底の生物調査をすると悲しい実態がわかりました。大きなアサリの多数が死んでいて、そのかわりホトギス貝が大量発生していました。漁協の方が、ホトギス貝は悪者ではないけれど、増えすぎてアサリなどの育成を阻害しないかが心配と話しており、阿蘇海の新たな問題が見えてきました。しかしアサリの外敵であるヒトデの駆除数は減少していたのでその点はよかったです。なぜ大量発生していたヒトデが減少しホトギス貝が増えているのかが疑問に思いました。



＜高井 啓亮＞

今日は卒業生で川崎重工業株式会社に勤めておられる河崎俊明さんに特別講演と溶接技術講習をしていただきました。特別講演では川崎重工業とはどんな会社であり、そして社会人に求められることは何かなどの内容でした。特に印象に残っている話は「挨拶、返事が出来ないと社会で生き残っていけない」という話でした。私は挨拶、返事などを行っているつもりですが、完璧にするためにもっとしっかりしていこうと思いました。講習では河崎さんの技術を生で見せていただき自分とかなりの差があるなと感じました。溶接が上手くなるには練習するしかないと思うので頑張っていきたいと思います。河崎さんは自分の考え方をしっかり持っておられたのでさすがだなと思いました。河崎さんに教えてもらったことは為になることばかりでした。今後の実習に生かしていきたいと思います。

